

はじめに

豊根村診療所 所長 唐澤 裕史

今年4月に豊根村診療所に着任した19年目の内科医です。他での診療所の経験は3年間です。専門は放射線影響学で、これまでは、病院での一般医療に加えて原爆症認定集団訴訟や日ソ連核実験場周辺住民の染色体分析にも取り組んできました。全国原発問題住民運動連絡センターの代表委員でもあり、原発被曝労働者の健康問題をライフワークとしております。そして今、学生時代からの、もう一つのテーマである僻地医療に偶然にも関わる事ができてうれしく思っております。

高校生の頃、秩父事件にあこがれました。事件といっても、実際は自由民権思想を背景とした貧困農民の反政府運動で、明治初期の埼玉、群馬、長野の県境が舞台でした。そしていつかは自分もこんな事件を起こしてみたいと思うようになりました。きっかけはNHKドラマ「獅子の時代」です。当時は、農民の先頭に立ち政府軍に切り込んでゆく菅原文太のラストシーンに単純に憧れただけでしたが、数千人の農民をいかに組織したかを、あとで実話として知る機会があり、改めて惚れ直した事件です。組織方法の基本は、自由党員が足しげく県境の村々に通い、無数の学習会を開く事でした。学習会で自由民権に感化された農民が今度は自由民権を説く側になる。まさに学習会の連鎖反応だったようです。そうした意味でこの事件は、それまでの一揆とは一線を画した、地道な思想学習に基づく社会変革の先駆けだと評価されています。

地域医療の崩壊が問題となっている昨今、ここ豊根村と同じような境遇の、愛知、長野、静岡の県境自治体で、「獅子の時代」を地で行くようなことができるかもしれないと期待しています。菅原文太のように格好良くはいかれないと思いますが、住民と地道に対話を重ね、たとえ過疎地でも安心して最後を迎えられるような医療をみんなで作り、全国に訴えてゆけたらと考えております。

開業医訪問 山本歯科診療所
所長 山本 誠一 副所長 山本 紀子



昭和18年 初代所長である山本喜代次が、東新町に山本歯科診療所を開業いたしました。その後、昭和47年に2代目所長に山本誠一が就任。現在に至ります。

これといった特色のない平凡な田舎の診療所でございます。昭和、平成の長きにわたり、微力ながら、地域医療に携わらせていただき、細々と続いてまいりました。

来年、平成23年4月には、山本紀子が、3代目所長に就任することになりました。

「生涯現役」を掲げる2代目所長も、引き続き診療に携わります。

市民の皆様、今後ともよろしくお願ひいたします。

勤務医訪問 新城市民病院
総合内科医師 牧野 真美子



新城市民病院総合内科の牧野真美子と申します。自治医科大学出身で名古屋第二赤十字病院での2年間の初期研修を終えて、今年の4月に赴任となりました。新城市民病院では様々な科の先生方に熱心に指導していただきながら日々の診療を行っています。

この5か月間で多くの患者さんと触れ合い、多くのことを患者さんから教えて頂いています。地域での医療崩壊がすすむ現在、都市部に若手医師が集中する傾向にありますが、都市部よりもこの地域の方が温かみやゆとりのある医療ができるのではないかと感じる今日この頃です。

毎日の健康管理から急病時まで多くの住民にとってはこの地域の病院や診療所はなくてはならないものだと思います。できる限り住み慣れた地域や家庭で自立した生活を過ごしてもらえるように、この地域で安心して暮らせるように診療所の先生方、病院の先生方と協力して医療に携わってまいります。今後ともよろしくお願ひいたします。

山本歯科診療所



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9:00~12:00	○	○	○	休	○	○	休
午後2:00~7:00	○	○	○	休	○	休	診

住 所：新城市字屋敷179
電 話：0536-22-0724

市民病院総合内科



総合内科 診療表

	受付時間	月	火	水	木	金			
午前	8:00~11:30	宮道	牧野 (第1週) (第3週)	石黒 (第1週) (第3週)	桐岡	石黒			
			宮道 (第2週) (第4週) (第5週)	牧野 (第2週) (第4週) (第5週)					
予約制	牧野		石黒	宮道			初診 樋下田	—	
午後	12:00~16:30		—	予約のみ 石黒			予約のみ 石黒	—	—

みんなの広場

新城市手をつなぐ育成会 活動拠点「陽だまりの家」 会長 上田 麻二子



新城市手をつなぐ育成会とは、知的・身体などのしょうがいのある人達の当事者団体です。全国組織である全日本手をつなぐ育成会の地方団体となっています。22年度の会員数は113名。新城市外の設楽町や東栄町などからも入会されております。「陽だまりの家」とは、元々ボランティア団体「陽だまりの家」(前崎みち子代表)として活動しておりましたが、育成会の賛助団体としてあゆみをともしることになりました。2年前の平成20年より大野地区へ活動拠点「陽だまりの家」を集いの場として開設することが出来ました。

育成会として、しょうがいのある家族が孤立しないための活動や、相談・座談会・個別支援会議への橋渡しなどのほか、「陽だまりの家」での学童保育や情報交換の場として、又は地域の方々との交流(春祭りなど)を随時企画運営しています。

「陽だまりの家」でのさりげないおしゃべりが、育成会での声となり、新城市地域自立支援協議会などのテーブルにのせることも、重要な役割として活動しております。また、地域の方々にもしょうがいというものについて広く知っていただく活動にも取り組んでいきたいと思っています。



<春祭りの様子>



<屋内での様子>



場 所：新城市大野字宮ノ前13
お問合せ：090-7854-6284
(上田)

<http://blog.canpan.info/hidamarinoie>